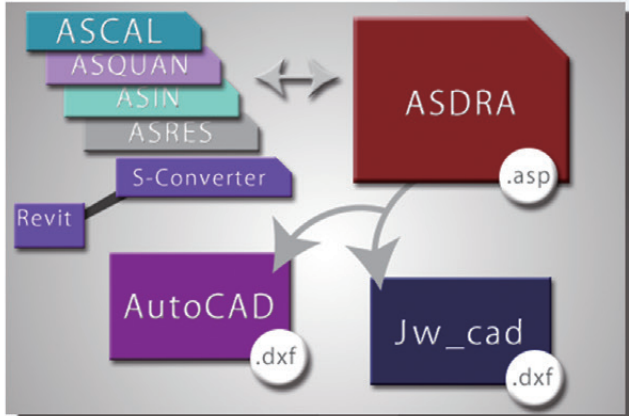


ASDRA

構造図一括作成プログラム



■ ASDRAとは

「ASDRA」とは、「ASCAL」を始めとする弊社ソフトの特徴でもある、グリッドフリー軸形状の3次元モデルで作成される計算データを基に、自動で基礎伏図、伏図、軸組図、部材リスト等の構造図データを「AutoCAD」、「Jw_cad」用に変換し、書き出すプログラムです。

一貫構造計算等のデータがそのまま作図されますので、ミスを少なく迅速な図面化が可能となり、計算結果との食い違いを防止することも出来ます。

多様な図面の自動書き出し

- 躯体レベルの表示が可能です。

[伏図]

レベル範囲を示す斜線表示
レベル値を示す共通事項の表示

[軸図]

フロアラインからのレベル値を表示

- 部材リストの図面形式の選択が可能です。

[柱・大梁等]

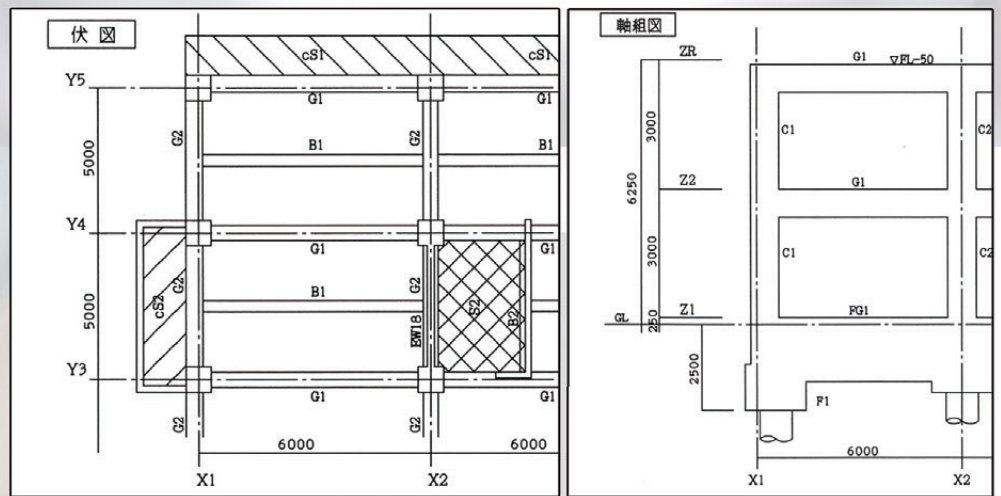
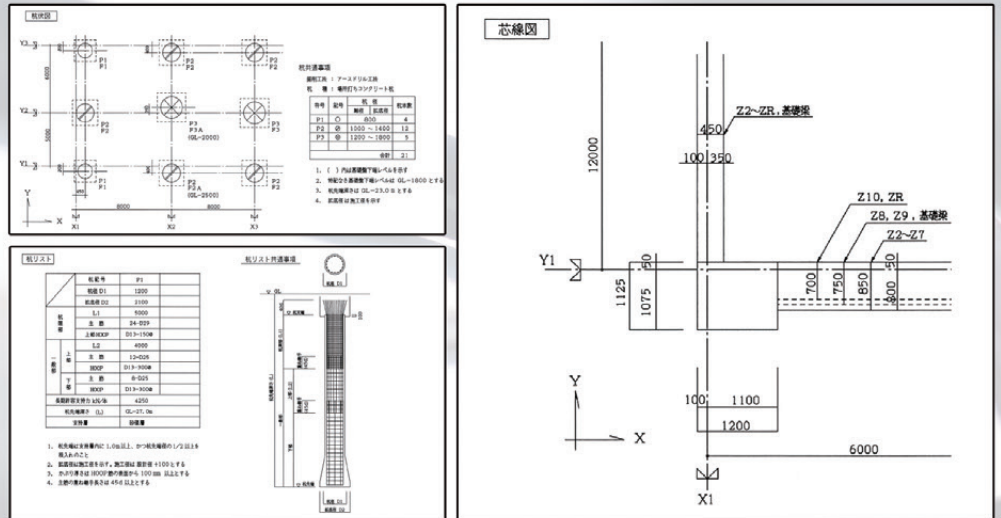
断面形式とbxD形式からお選び頂けます。

[壁・床版等]

表形式と断面形式からお選び頂けます。

- 伏図の線種を使い分けることができます。

- 各伏図・軸図・各部材リストに対して共通事項の設定・表示が可能です。

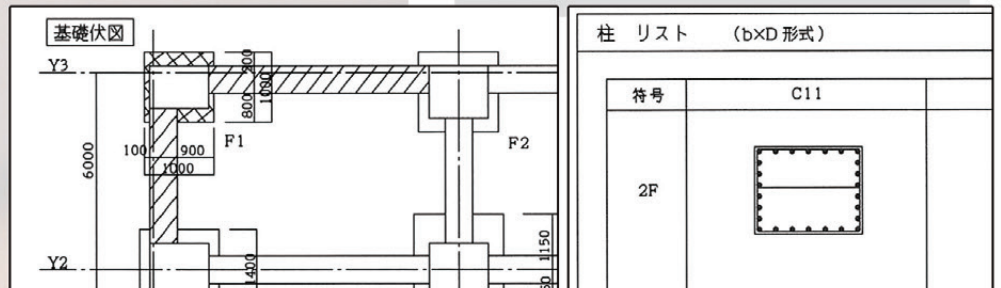


他社ソフトとの連動

他社一貫構造計算を読み込めば図面作成が可能です。

取込可能プログラム

- SS3
- BUS
- STbridge



項目	機能内容		
作図対象	鉄筋コンクリート造 (RC造) ※WRC造含む 鉄骨造 (S造)		
対象図面	RC造・S造共通: 伏図 (杭伏図、 <input type="checkbox"/> 基礎伏図、 <input type="checkbox"/> 一般階伏図、 <input type="checkbox"/> R階伏図) <input type="checkbox"/> 軸組図 部材リスト (杭、基礎盤、耐圧版、 <input type="checkbox"/> 基礎梁、 <input type="checkbox"/> 基礎小梁、 <input type="checkbox"/> 柱、 <input type="checkbox"/> 大梁、 <input type="checkbox"/> 小梁、 <input type="checkbox"/> 壁、 <input type="checkbox"/> 床版) 部分詳細図 (階段、パラペット) (注) <input type="checkbox"/> 内は新発売製品の作成可能な図面です。 RC造: 芯線図 S造: 部材リスト (礎柱、ブレース)		
共通設定	用紙サイズ, 各図縮尺, 図面形式 (リスト), 文字サイズ, 鉄筋記号 等の選択設定が可能です ※ 出力図面 (DXF形式) は AutoCAD 用 または JW_CAD 用 から 選択設定が可能です。		
図面配置設定	出力図面・図面配置・図面番号・縮尺・図面名・個別図面名等の設定を一つの画面で操作することが可能です。		
共通事項の表示	各伏図・軸組図・各部材リストに対して、共通事項の設定・表示が可能です		
躯体レベルの表示が可能	伏図: レベル範囲を示す斜線表示 レベル値を示す共通事項の表示 軸組図: フロアラインからのレベル値を表示 共通事項の表示		
作図条件の保存	作図条件の設定内容は、変更しない限り保存されます 図面出力の都度、作図条件の設定をする必要はありません		
「ASCAL」 との連動	<ul style="list-style-type: none"> 一貫構造計算データが、そのまま作図データとなります 計算結果を即図面化することが可能です 計算結果と構造図の食い違いの防止が可能です 設計者から図面作成者への指示データとして採用可能です 		
構造設計各段階に 応じた活用法	構造設計初期	構造設計中期	構造設計終期
	<ul style="list-style-type: none"> 図面を出力し確認することにより、一貫構造計算プログラムデータのチェックが可能。 基本設計時等に説明資料として、活用可能。 	<ul style="list-style-type: none"> 途中段階の図面を出力し、施主または意匠設計事務所に提示も可能。 ※ この段階で大半の作図条件を設定。 	<ul style="list-style-type: none"> 納期直前の計算調整に伴うASCALデータを変更に対しての、図面訂正漏れ防止が可能。
他社一貫構造計算 データとの連動	他社一貫構造計算データを読み込み、図面作成が可能です。 <ul style="list-style-type: none"> SS3 BUS STbridge 		

※ 機能整備 (Version up) 概要

- 内は新発売製品の作成可能な図面です。
- 順次、杭伏図・部材リスト・各種共通事項・芯線図・部分詳細図 を追加整備していきます
- 整備期限は今年中です。

※ 当案内書の記載内容は 2013 年 8 月現在のものです。改善のために予告無く変更することがあります。

お問い合わせ



株式会社 **アーキデータ研究所**

次世代の建築を想像する
構造躯体システム

<http://www.archdata.co.jp/>

〒116-0013

東京都荒川区西日暮里 2 丁目 37-14

TEL 03-5901-9450

FAX 03-5901-9451